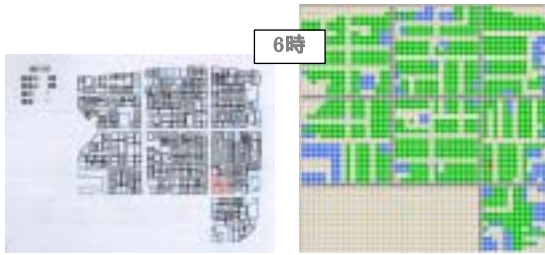


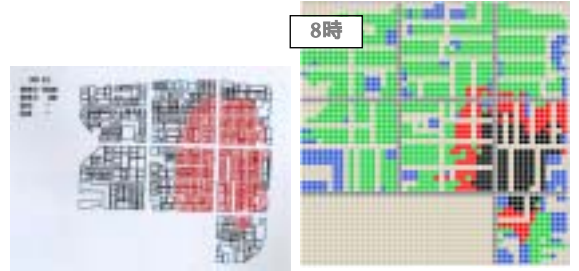
対象とした街区: 神戸市長田区若松町・大橋町付近



推定延焼動態図[1,2]

モデル化された格子マップ

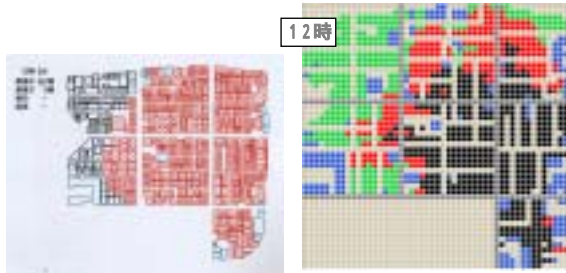
文献:
 [1]神戸市消防局: 阪神・淡路大震災における火災状況, 1996.8, pp.137-152.
 [2]神戸市消防局: 神戸市における地震火災の研究, 1996.11, pp.63-78.



推定延焼動態図[1,2]

CAによる延焼シミュレーション

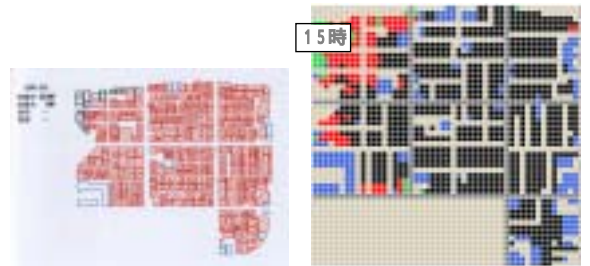
文献:
 [1]神戸市消防局: 阪神・淡路大震災における火災状況, 1996.8, pp.137-152.
 [2]神戸市消防局: 神戸市における地震火災の研究, 1996.11, pp.63-78.



推定延焼動態図[1,2]

CAによる延焼シミュレーション

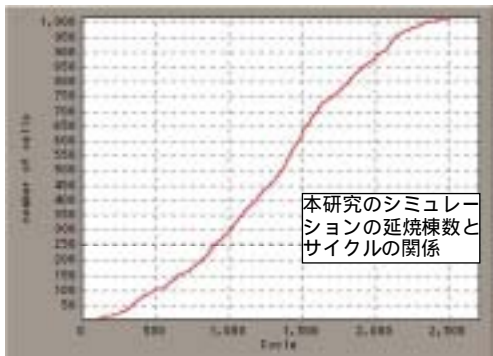
文献:
 [1]神戸市消防局: 阪神・淡路大震災における火災状況, 1996.8, pp.137-152.
 [2]神戸市消防局: 神戸市における地震火災の研究, 1996.11, pp.63-78.



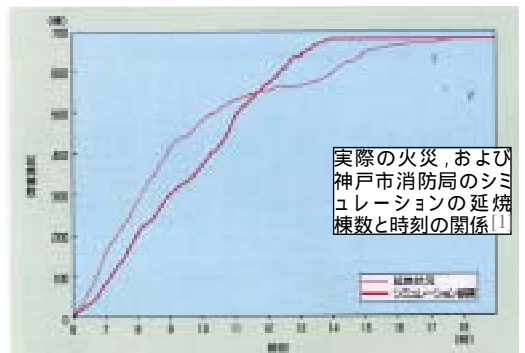
推定延焼動態図[1,2]

CAによる延焼シミュレーション

文献:
 [1]神戸市消防局: 阪神・淡路大震災における火災状況, 1996.8, pp.137-152.
 [2]神戸市消防局: 神戸市における地震火災の研究, 1996.11, pp.63-78.



本研究のシミュレーションの延焼棟数とサイクルの関係



実際の火災, および神戸市消防局のシミュレーションの延焼棟数と時刻の関係

文献:
 [1]神戸市消防局: 神戸市における地震火災の研究, 1996.11, p.63.

結 論

セルオートマトンのシミュレーションと実際の火災の広がり、およびグラフにおいて、一致しているところも多いと思われるため、火災シミュレーションの手段としての価値は認められる。しかし、パラメータ入力やプログラム段階における数値設定において、人為的操作が含まれることもあり、一つの有力なモデルとしての意味はあるものの、一般的な手法として広く利用されるに至るには、更なる研究が必要である。